

むらづくり役場

『かわら版』

住民自治組織 中津江振興協議会 《第13版》 2022.1.1

54-3200

変わらぬ日常こそ最大の安心



会長 川野 幹夫さん



新年あけましておめでとうございます。令和という新たな年号になり、間もなく丸3年となります。住民自治組織も昨年10月で4年目を迎えました。ここ2年間は新型コロナウイルスと豪雨災害に振り回され、様々な活動やイベントを中止せざるを得ませんでした。昨年は大きな災害こそなかったもののお盆に大雨が降ったり、秋口まで猛暑日が続くなど、天候不順にも悩まされた一年でした。

そうした中、規模を縮小し2年ぶりの「ふるさとまつり」を開催。多くの皆様の笑顔が溢れる温かなイベントを実施することができました。

これから、皆さんが楽しく元気に、安心して暮らしていく取組みを模索してまいりますので、変わらぬご支援と、ご協力をお願い申し上げます。



なかつえカレンダー 写真コンテスト 実施!

あなたの撮影した自慢の写真で中津江独自のカレンダーを飾りませんか!

来年(令和5年)のカレンダーに載せる写真をコンテストで選び、入賞作品をふるさとまつりで表彰する予定です。

自然や風景、人物やイベントなど中津江村内で撮影したものであれば、題材は何でも構いません。入賞作品には副賞を贈ることにいたしますので、お気軽に応募してください。詳しい募集要項は、むらづくり役場と中津江振興局に置いてありますのでお持ち帰りください。

見本として今年のカレンダーを事務所に置いてあります。



・・・新年の三社詣りは、地元の津江神社へ・・・



令和四年の初詣には参拝されましたか? 津江地域には、「津江八社」と呼ばれる老松天満宮をはじめ、沢山の由緒ある神社があります。中津江村内にも「津江神社」を冠する3つの神社が建てられています。

中村・小原(八所)・宮園と、三社三様、それぞれ趣のある社殿となっており、地域の人達の手で長年守られてきました。新しい一年の無事と平安を祈願する「初詣」、今年は津江神社の三社詣りをされてみては。

祈願する「初詣」、今年は津江神社の三社詣りをされてみては。



宮園神社



小原(八所)神社



中村神社



6月生まれで英語のJune（じゅん）が名前の由来。3人兄弟の末っ子で、上の子の真似をしながら、とにかくよく走り回り、何でも食べる潤ちゃん。嫌いな食べ物もなく病気もあまりしないという元気っ子。サンタさんから貰ったバスやブロックで遊んだり、家の外で三輪車をブイブイ言わせながら走ったり。保育園ではお姉ちゃんとお化けの花火音頭を歌ったり、お兄ちゃんとお変顔ごっこに興じたりと、笑顔のかわいい潤ちゃん。～ご両親から～一番は病気にせず元気に、そして

兄弟3人仲良く。
赤星 潤ちゃん
(柘原)1歳
令和2年生まれ



地域のお宝！
今月のご長寿さん…

6人兄妹の3番目としてお生まれになったシヅ子さん。御年94歳にして、最近まで畑仕事をしていたという頑張り者で、園芸の本も沢山読む勉強家。18歳で終戦、その後の若い頃は、仕事に子育てに、大変な苦勞の連続だったとか。中学校の遠足で阿蘇に行ったり、お伊勢参りや沖縄旅行が楽しい思い出と語るシヅ子さん。取材日は綺麗に“こしらえて”待っていて下さり、周りへの気配りと優しさは、ずっと変わらないようです。～ご家族から～これからもずっと元気で、長生きしてください。！



石川シヅ子さん
(中川内)94歳
昭和2年生まれ

地域のお宝！
今月の赤ちゃん…

昨年(令和2年)の10月1日時点で行われた国勢調査の結果が公表されました。中津江村では5年前の前回調査(平成27年)から、人口が148人減少して**621人**、世帯数は61戸減少し、**303世帯**となっています。

中津江の人口621人！～令和2年国勢調査～

国勢調査は大正9年から始まり、今回が100年目。中津江では鯛生金山が全盛期の昭和10年調査をピークに、ずっと減少しています。日本全体の人口も、前回調査から減少している一方で、東京23区や福岡市の人口は増加しており、見方によっては、いまだに都市圏一極集中の流れは、変わっていないのかもしれませんが。



つれづれ

何か最近、口から先に生まれてきたと思われる向きもあるが、私…実は、引っ込み思案で人見知り。先んじて出しゃばったり人前で話したりとか、大の苦手である。“ハイハイ、そう言うのも芸のウチでしょ！”なんて声がアチコチから聞こえてきそうだが、残念ながら！?ホントの話。
 最近はマスクして話すことが多く、焦った気持ちを悟られることは少ないが、人前では緊張するので立ったまま喋る！というスタイルは変えられない。そんな中でも何とかボケて笑いを取らねばと、ハゲネタを突っ込むのだが、一向にウケない。「講演で笑いを取るうだなんて、引っ込み思案の人は考えません！飲んでばかりいないで、新しい掴みネタでも考えなさい！」いつもの厳しい指摘に、そうか、次は酒での失敗ネタか！と更に一杯注ぐ私…笑いは取れないが、自虐ネタならいくらでも。(英)

笑いの中に真理あり～人権講演会

年間400回を超える講演をされている、落語家の矢野大和さんを講師としてお迎えし、12月18日に柘原の交流促進センターで「人権講演会」を開催しました。当日は、冷え込みが厳しい中でしたが、落語好き、矢野さん大好きな人が沢山集まってくれました。
 人権問題というとなかなか捉えがちなですが、頑張っても変えられない事を卑下するのを差別と言い、お互いの違いを認めようという生活していく重要さを分かりやすく、ウィットに富んだ笑いを含めて楽しく話してくださいました。
 “お天道様見よるけん、悪いことは出来ん！”といった日本の精神性など、笑いの中に真理を見いだせる楽しい講演でした。

